

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2015.09.No217

9月号

目次

- 未来の建築士へ……………1
- 講習会などのご案内……………3
- 特集 北海道建築士会会員作品の紹介……………4
- J5団体紹介……………6
- 支部だより……………7
[石狩・留萌・斜里]
- information……………8

URL <http://www.h-ab.com/>



未来の建築士へ

青年委員会 委員 小林 祐 司 (札幌支部)

去る6月20日、21日に、毎年恒例となった「建築士の日」周知イベントを行いました。場所を新さっぽろサンピアザ光の広場に移して3年目、今年も子供たちを対象とした建築のお仕事体験として「ブロック玩具でまちづくり」、「パズルで間取りを考えよう」、「折り紙建築」、「住んでみたいお家を描いてみよう」の四つのブースをメインに、お仕事をしてくれた子供にお給料を払い、駄菓子やおもちゃに交換できるイベントを行いました。また、北海道建築士会の活動をご来場のお客様にPRするパネルを展示しました。今年は過去最高の1500名以上のご来場をいただきました。



毎年何かと新しい取り組みにチャレンジしていますが、今年は新たに北海道建築士会の活動（主に青年委員会の活動）をPRするビデオを作成し、常設モニターにて上映し続けました。休憩スペースに隣接した大画面のモニターに映し出されるビデオをご年配の方から比較的若い親子まで、ちらちらと見ていただけた様子で、少しでも一般の方たちの建築士会のPRに繋がれば、と期待が持てました。

建築のお仕事体験ブースでは、新たな試みとして

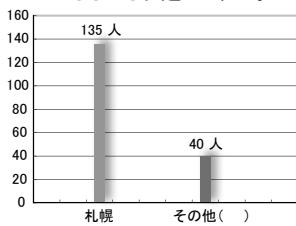
ストローとゼムクリップを組み合わせる遊び、「ストロータワー」というコーナーを設けました。ストローで簡単な構造モデルを作る遊びなのですが、これが思ったよりも好評で、子供たちだけではなく、ご両親も夢中で製作していたのが印象的でした。来年以降も取り組んで行きたいコーナーとなりました。



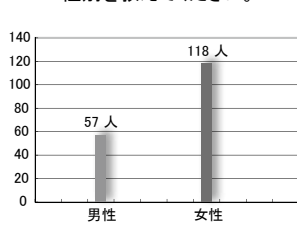
イベント期間中にご来場者に建築士会に関するアンケート調査を行いましたのでその結果をご報告いたします。

■アンケート調査結果

1. どちらからお越しですか。

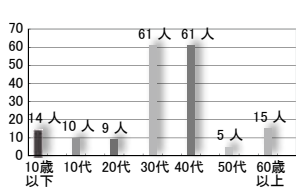


2. 性別を教えてください。

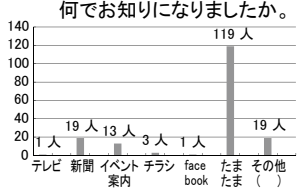


【どちらから?】札幌以外からも意外に参加した方が多いことがわかります。

3. 年齢を教えてください。

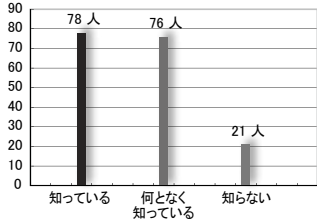


4. 今日のイベント、何でお知りになりましたか。

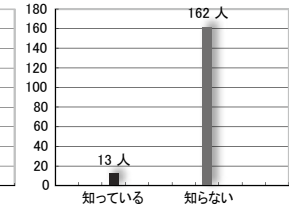


【参加者は?】たまたま買い物に来ていた、子供連れの30代40代の女性がメインの参加者と言えます。

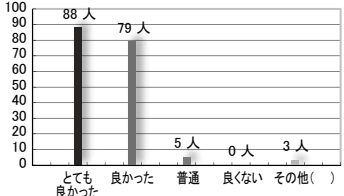
5. 建築士とは何かご存知でしょうか。



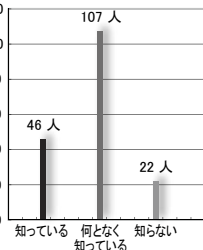
6. 7月1日は建築士の日であることを知っていますか。



7. 本で行われている建築士の日イベント、どのように思われましたか。

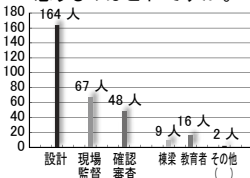


8. 建築士の仕事を知っていますか。

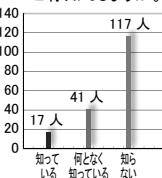


【建築士とは? 建築士の日とは?】建築士については仕事内容も含めてある程度認知されているものの、建築士の日については圧倒的に認知されていないようです。しかしながら、イベントについては好評をいただいております。中には毎年楽しみにしているという声も、参加者から聞こえてきました。こういった活動を継続することで建築士や建築士の日に対する認知度は確実に上がっていくと言えるでしょう。

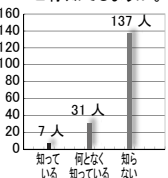
9. 建築士の具体的な仕事と



10. 建築士会とは何かご存知でしょうか。



11. 建築士会の活動を



【建築士の仕事、士会?】建築士の仕事=設計というイメージが強いです。また建築士会については、その活動も含めてまだまだ認知されていないようですが地域に密着しつつ、参加人数が多く人通りも多い本イベントは、建築士会の活動をPRする良い機会になっていると思います。アンケートの最後にご意見ご要望をいただいております。ここでいくつか紹介いたします。

「こんなイベントが色々な所であるとうれしいです。」
「今回で2回目です。子供は楽しくやっています。また来たいです。」

「子どもたちが喜んで参加していたので興味をもつきっかけになると思いました。」

「業界違いますが尊敬致します。」

抜粋ですが嬉しいご意見をいただいております。

■お仕事体験の感想

メインである建築お仕事体験は子供たちにとってどうだったのか、今回はある親子(お父さんが建築士会会員)のご協力をいただいております。お仕事体験についての父子インタビューをしてもらいました。

父「パズルはどうだった?」、子「部屋並べるのは楽しかった」、父「途中で自分の家つくったしょ」、子「部屋名書きたかった、自分の部屋とか」、父「おうちを描いてみようはどうだった?」、子「クレヨンより色鉛筆が良かった」、父「ストローはどうだった?」、子「実験みたいで楽しかった」「なんか、ストローとクリップだけでこんなのできるんだと思った」、父「四角形でつくと立たなかったね」、子「最初はどやったら立つんだろうと思ったけど、考えないで色々やったら立つようになった、楽しかった」、父「折り紙建築は?」、子「カッターでまっすぐ切るのが難しかった、折り紙がもっと大きかったらやりやすかった」、父「全体的にはどう?」、子「もうちょっと場所が広いと良かった」・・・

といった感じでした。他にも会場の子供たちの様子を見ていましたが、当然ながらお仕事体験を“おしごと”ではなく“遊び”と受け止めていたように見受けられました。インタビューに答えてくれたお子さんの年齢は9歳、会場全体を見ても小学校低・中学年が多かった印象です。まだまだ職業意識を感じる年齢ではありませんが、こういった“遊び”から将来の職業選択のきっかけにならないとも限りません。

今年からは札幌以外の道南・道北・道東ブロックでも、より多くの子供たちに建築のお仕事体験をしてもらえるよう同イベントの開催を予定しています。20年後、30年後の建築士への種を蒔くことは、“いま”の建築士たちが考え、取り組むべき大切な務めと信じ、「未来の建築士」が芽吹くことを期待して来年も頑張ろうと思います。

平成27年度応急危険度判定認定講習会のご案内

今年度も下記日程で開催を予定しておりますので、皆様の積極的な受講をお待ちしております。なお、今回、更新対象の方へは直接ご案内しております。認定証の有効期限が切れている方、新規で受講希望の方は、各支部または本部事務局で配布している受講申込書にて本部事務局へ申込みください。（支部での受付はしません。）また、開催日が未定の会場については、決まり次第、国会ホームページにてご案内いたします。

受講申込書ほか各種様式は、国会ホームページ（<http://www.h-ab.com/>）からもダウンロードできます。

開催地	開催年月日	会場名	住所	定員	開催時間	備考(同時開催)
札幌市	平成27年10月22日(木)	北海道自治労会館	札幌市北区北6条西7丁目	300名	13:30～15:30	
岩見沢市	平成27年11月10日(火)	空知総合振興局 5階会議室	岩見沢市8条西5丁目	50名	13:30～15:30	
室蘭市	平成27年11月12日(木)	胆振総合振興局 3階大会議室A	室蘭市海岸町1丁目4-1 むろらん広域センタービル内	50名	13:00～15:00	応急危険度判定机上訓練(15:00～16:00に実施)。
網走市	平成27年11月18日(水)	オホーツク総合振興局 3階講堂	網走市北7条西3丁目	50名	13:30～15:30	応急危険度判定机上訓練(15:45～16:45に実施)。
留萌市	平成27年11月19日(木)	留萌振興局 3階入札室	留萌市住之江町2丁目1-2	30名	13:30～15:30	
函館市	平成27年11月19日(木)	渡島総合振興局 301号室	函館市美原4丁目6番16号	50名	13:30～15:30	応急危険度判定机上訓練(15:45～16:45に実施)。
中標津町	平成27年11月19日(木)	中標津町役場 3階301会議室	中標津町丸山2丁目22番地	50名	13:00～16:00	応急危険度判定机上訓練を含む。
小樽市	平成27年11月20日(金)	小樽市役所 3階第2会議室	小樽市花園2丁目12-1	50名	13:30～16:30	応急危険度判定机上訓練を含む。
浦河町	平成27年12月 3日(木)	日高振興局 201号会議室	浦河郡浦河町栄丘東通56	30名	13:30～15:30	
帯広市	平成27年12月 9日(水)	十勝総合振興局 4階AB会議室	帯広市東3条南3丁目	80名	13:30～15:30	
旭川市	平成28年 1月22日(金)	上川総合振興局 3階講堂	旭川市永山6条19丁目1-1	100名	13:30～15:30	
札幌市	平成28年 2月	未定	未定	未定	午後	
江差町	平成28年 2月 4日(木)	檜山振興局 301号室	檜山郡江差町字陣屋町336-3	20名	13:00～15:00	応急危険度判定机上訓練(15:10～17:00に実施)。
苫小牧市	平成28年 2月 5日(金)	苫小牧市職員会館 304号室	苫小牧市旭町4丁目6-6	50名	13:00～15:00	応急危険度判定机上訓練(15:00～16:00に実施)。机上訓練の間合せ先は胆振総合振興局です。(苫小牧市ではありません。)
稚内市	平成28年 2月上旬	宗谷総合振興局会議室	稚内市末広4丁目2-27	40名	未定	
釧路市	平成28年 2月24日(水)	釧路総合振興局 3階会議室	釧路市浦見2丁目2-54	40名	13:30～15:30	応急危険度判定机上訓練(15:45～17:15に実施)。

※注) 認定講習会と同時開催する応急危険度判定机上訓練の詳細(申込)については、開催地の(総合)振興局建設指導課建築住宅係へお問い合わせ願います。

応急危険度判定机上訓練 【道央ブロック】《小樽会場》開催のご案内

- 日 時：10月3日(土) 15:00～17:20
- 会 場：小樽市公会堂1号室
小樽市花園5丁目2番1号
※駐車場は市役所をご利用ください。
- 定 員：50名
- 申込方法：申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXにて下記小樽支部へお申込み下さい。
(国会ホームページより、申込書ダウンロード可能)
- 受 付：9月1日～9月25日
(定員になり次第締め切ります)
- 受 講 料：無料
- ※申込先 小樽支部事務局(阿部建設内)
FAX:0134-33-8621 TEL:0134-23-6221
担当 石坂

平成27年度建築士定期講習受講のご案内

平成24年度(平成24年4月～25年3月)に、建築士定期講習を受講された方、また平成24年度に建築士試験に合格された方で建築士事務所に所属されている方は今年度が受講年度です。

国会が開催する定期講習を受講された方へは、北海道建築士会本部が主催する講習会(建築基準法講習会、建築技術講習会(札幌開催のみ)など)を対象に受講翌年の3月31日迄有効な割引券(受講は1回限り)を発行します。(割引券は、定期講習当日配布します)

割引額 会員 2,000円(会員外1,000円)

第三期		第四期	
開催地	開催日	開催地	開催日
北斗市	10月14日	釧路市	2月17日
帯広市	10月22日	北見市	2月26日
札幌市	11月18日	苫小牧市	3月3日
室蘭市	11月19日	札幌市	3月16日
旭川市	11月27日		

北海道建築士会会員作品の紹介

宮の沢の家

設計監理： 富谷 洋介

TOMIYA YOUSUKE (札幌支部)
富谷洋介 建築設計

建物概要

所在地：北海道札幌市
建物用途：専用住宅
構造規模：木造、地上2階
延床面積：152.91㎡
建築年：平成27年3月

設計の意図等

3方を道路に面した、多角形の外壁を持つ二世帯住宅です。

道路に対するプライバシーと、近景に望む森の風景の借景を両立させるため、内部は十字型の共用スペースが積層するプランとなりました。

各階は敷地を有効に使うため天井高さ、床の高さの操作によりワンルーム状のスキップフロア空間とし、コンパクトながらも視線や感覚による広がり・ズレを利用することで広がりある居心地の良い内部空間を設計しています。

高気密・高断熱、また地中熱ヒートポンプによる全館暖房を採用することにより高い省エネルギー性、快適性を得ています。



写真

上：外観

左下：スキップフロア
となった一体の
LDK

右下：光が注ぐ吹抜

スカイコートのある家

設計監理： 佐藤 栄司

SATOU EIJI (札幌支部)
ミサワホーム北海道 株式会社

建物概要

所在地：北海道千歳市
建物用途：専用住宅
構造規模：木造、地上3階
延床面積：182.38㎡
建築年：平成25年9月

設計の意図等

市街地中心部にある個人住宅で、プライバシーを確保しつつ、心地良い採光や眺望を確保するため、3階建とした。

玄関ホールは、間接照明のある飾り壁とベンチでお客様を迎え入れるデザインを採用。

2階にあるLDKは、眺望と採光を重視した開口と間接照明と床材は、イタリアンタイルで明るいリゾートリビング的なインテリアとした。

3階は、主寝室と浴室と洗面室で挟んだ屋上スカイデッキを中央に配置。プライバシーと採光を確保したアルミ製の横面格子で、外観上のデザインのアクセントとしつつ、内部は、プライベートな空間になった。



写真

左上：外観

右上：玄関ホール

下：2階リビング

昨年に引き続き、本誌及びホームページにて募集した士会会員作品を紹介します。

会員の創意と技術に満ちた作品を紹介することで、会員の技術力向上とこれを起点としたコミュニケーションによる士会活性化を目的として企画しています。今後も募集する予定ですので、みなさまの作品をぜひお寄せください。なお、応募作品は、ホームページにも掲載していますので、あわせてご覧ください。

カントリーコテージ 和樹あい愛

設計監理： 高松 和昭

TAKAMATSU KAZUAKI (上富良野支部)
株式会社 佐藤建業

建物概要

所在地：北海道空知郡中富良野町
建物用途：簡易宿泊所
構造規模：木造、地上2階
延床面積：149.87㎡
建築年：平成27年4月

設計の意図等

ハンディがあっても高齢者でも旅先で楽しく過ごせる空間造りを目指して、築50年あまりの農家納屋を車椅子利用にも便利なバリアフリーコテージへリノベーションしました。

中富良野町の田園地帯に建ち、富良野盆地ならではの十勝岳連峰・芦別岳を見渡せる立地条件です。駐車スペースからウッドスロープ・ウッドデッキを通過して、車椅子の方でもスムーズに建物内に入れる動線を確保しています。また、車椅子対応のキッチンやシャワーブースを設置するなど、コテージを利用される方々に思いやりのある配慮をしました。

建物全体を和風でレトロな雰囲気に仕上げため、外壁は板張り、内装は50年前の梁・柱をそのまま利用するなど、木をふんだんに使い、木の温もりを感じられる建物になりました。



写真

上：外観

左下：1階LDK

右下：2階吹抜
フリースペース

新ひだか町図書館・博物館

設計監理： 亀田 誠

KAMEDA MAKOTO (日高支部)
新ひだか町役場

建物概要

所在地：北海道日高郡新ひだか町
建物用途：図書館・博物館
構造規模：RC造、地上1階
延床面積：2,856.45㎡
建築年：平成26年12月

設計の意図等

旧図書館は、地震により損傷した静内図書館の仮設図書館として運営してきましたが、狭隘で情報設備に乏しい状況から、ゆとりがあり、明るく、高度な情報機能を備えた建物を整備しました。また、老朽化が著しい旧博物館の建て替えも兼ねて整備されました。

当建設地は公園の一部としていることから、公園と一体となった施設づくりの推進に努め、公園からの動線、江別産レンガを用い自然・周辺環境と調和した外観の設計となっています。

建物はホールを介して図書館、博物館にアクセスする構造となっています。図書館は、開架フロアに約8.5万冊の収蔵に対応できる書架を設け、充実した蔵書スペースを確保しています。また、博物館は常時展示を行う常設展示室とさまざまな企画展に対応できる企画展示室を設置しています。



写真

上：外観

左下：図書館書架

右下：博物館展示室

今の時代に求められている積算技術・積算資格者とは

公益社団法人日本建築積算協会北海道支部 資格制度委員 武内 正光

(公社)日本建築積算協会は我が国唯一の積算技術者の団体です。会員の所属先は、積算事務所、設計事務所、建設会社、専門工事業、大学等研究機関、官公庁、不動産会社など大変バラエティに富んでいます。どの様な部署に所属していても建設に係わる以上コストの問題は生じます。建物の価格がどの様なプロセスで決まるのかを知っておくことは、直接積算にかかわる仕事でなくても必要な知識でしょう。

最近、建築とコストの関わりが広く世間の注目を集めました。国立競技場の建設問題に代表されるような予定価格と実施価格の乖離が社会問題化しています。北海道でも予定価格に達せずに不落になる工事がありました。この様な時にこそ積算技術者が果たす役割は重要です。また建築技術者がコストに対する知識を持つ必要があります。計画段階からコストの管理に携わり、ライフサイクルコストまでを含めた提案や助言のできる人材が必要となってきています。

積算協会の成り立ち

当協会は、昭和42年に前身の団体が設立され、昭和50年に正式に現在の団体名になりました。

昭和54年からは民間資格として「建築積算士」の称号で資格制度が始まりました。その後、平成2年に建設大臣認定資格である「建築積算資格者」が出来、公的資格になりました。平成13年に認定の告示廃止を受け再び民間資格へと戻りました。

協会の活動内容

三つの事業が柱になっています。

①人材育成事業

学校教育への講師の派遣、教材の提供を通じ建築の学生に積算やコスト管理を理解してもらい、建築積算士補の資格を学生のうちに取得するよう働きかけています。また、社会人教育として積算に係わる各種講習会(コストマネジメントと概算、鉄骨工事ガイドブック、建築コストマネジメント講習、積算実技講習等)、研修会(ミニ積算学校)、現場見学会を実施しています。他に会員交流会を実施し、資格者各々の意見交換の場を設けています。

また継続的学習を目的にCPD制度を取り入れ、建築コスト管理士の資格の更新には、年間16単位5年間で80単位以上の条件を課しています。このCPDの単位は建築士会など他の協会のCPDも相互に対

象となる様になっています。

建築コスト管理士、建築積算士、建築積算士補の認定事業を行っています。資格者の数は、平成2年に「建築積算資格者」で35,000人位おりましたが、現在は「建築積算士」で12,531人となっています。建築コスト管理士で1,266人です。資格者の年齢構成でも40代までの資格者は3,000人で全体の25%ほどです。今後資格者の高齢化に伴ってますます減少することが考えられます。

学生時代に「建築積算士補」の資格を取得しコストに対する興味を持ってもらい、社会人になって「建築積算士」の資格で実践的な知識を、「建築コスト管理士」でさらに上位のコスト技術者が育ってくれたならと考えています。

②調査研究情報発信事業

PCM領域の研究、コスト関係の書籍の製作と出版、コスト関係の情報発信、海外の団体との交流を行っています。

③第三者評定事業

コストに係わる第三者性を必要とする数量積算、コストの評価、建築にまつわる諸問題の指導、助言等を行っています。最近ですと不落時の予算に対し、検証を依頼される場合もあります。

現在の課題

いかに若い建築技術者に積算やコストに対して関心を持ってもらい、多くの人が建物の価格に対する理解を深め、その中から積算やコストの専門家が育ってくれる事を目指しています。

また、札幌に資格者が集中しております。各地域毎に資格者を確保できる様にしたいと考えています。

J5の活動

「建築コスト管理士」や「建築積算士」の資格は、受験で合格しなくてはならずその為の受験費用、テキスト代や仕事の合間での勉強時間の確保、取得後も更新などに掛る費用、e-ラーニングやCPD等個人が負担する費用や時間は、個人としては大変な重荷です。そこまでして取得した資格が社会から認められないのでは今後技術者が育つことは無いでしょう。これからの時代を担う資格者をJ5の活動を通じ広く社会にアピールして行きたいと考えています。

石狩支部 余市町への視察見学 日帰り旅行

事務局長

末森 友美



毎年、「建築士の日」には石狩市内や近郊を視察するのが恒例でしたが、今年は少し足を伸ばし、余市町まで行ってきました。

今回はバスでの旅行でしたので、なるべく多くの参加を呼び掛けて20名での旅行となりました。7月1日の11時に石狩を出発して、最初は余市町の「山本観光果樹園」でのジンギスカンとさくらんぼ狩りでした、この日は雨が

降っていたのですが、こちらの果樹園は屋根で覆われた木もあり、雨の日でもさくらんぼ狩りを楽しむことができました。次は「ニッカウキスキー工場」を見学しました。そこで余市支部の赤石支部長、観光協会の方、余市町役場の観光課の方が来てくださって、余市の町を案内していただきました。旧余市福原漁場、旧下余市運上家に連れて行っていただき、こちらは道内唯一の運上家で国の重要文化財に指定されていて、建物の中はニシン漁繁栄を今に伝える歴史を感じるととても素晴らしい建物でした。

今回は余市支部の方ご厚意で余市観光協会の方にガイドをしていただき、参加した石狩支部の会員にも喜んでもらえて、とても良い視察見学会となりました。



留萌支部 留萌支部の近況

事務局長

舛田 彰



各支部の皆様、建築士会での活躍、毎日の業務の中本当にご苦労さまです。留萌支部の近況を報告いたします。留萌支部現在の会員数は63名、近年の会議で話題となる会員の増員ですが、現在2名の加入が候補となっております、只今、

勧誘活動を行っている所です。賛助協賛会社は、平成27年度新たに3社のご協力をいただき、23社となりました。

「建築士の日」の事業として、チャリティビアパーティを7月2日に開催し、参加者≒500名この参加者数は、昨年とほぼ同数で減少した会員の大きな励みとなり、会員一同の手作りでのもてなしをしております、又、売上金の一部

は4団体に寄贈いたしました。

9月18,19日には、第40回全道大会（紋別大会）開催されます。全道の建築士の方々とお会いできることを楽しみに、そして、建築士の資質を見直し、信頼できる建築士として活動していきたいと思っております。各支部の皆様も一緒に頑張りましょう。

斜里支部 続けていきたい活動

事務局長

大久保哲也



当支部は世界遺産知床を有する斜里町にある会員数24名、賛助会員38社という零細支部です。毎年会員数が減少傾向にありますが、昨年に引き続き新入会員が1名、賛助会員が2社増加し、微力ながら道東の地で存続しています。

今年の斜里支部は1月の通常総会で青年部長が中花繁昌から鈴木

隆明へ代わり、昨年度は1回も参加出来なかった道東ブロック協議会にも珍しく2回共参加出来ました。

零細支部ゆえ、斜里支部としての活動はほとんどありませんが、年一回行われる斜里町のイベント楽市・楽座への出店があります。仲間が年数回集まる貴重な時間として建築士をアピールしています。何回か参加出来なかった年もありますが、1年でも長く続けていきたい活動の一つです。

第12回知床しゃり楽市・楽座で

は斜里支部の飲み代・・・？を毎年支えてきた、伝統の味「タコ焼きそば」から知床斜里町の食材をふんだんに使用した新しいメニューへ変更する予定です。9月6日近隣へお越しの際はぜひお立ち寄りください。

今年は9月に全道大会が同じオホーツク圏の紋別で開催されるので、斜里支部として多くの会員が参加し、道東ブロックの一員として強力なサポートが出来るよう計画していきたいと思っております。

**建築士会会員
みなさまの声
大募集**

情報委員会では、ひろく皆様から、ご意見・ご要望（リクエスト）を募集いたします。「こんなこと知りたい」「わたしの主張」などなど・・・よりよい紙面づくり、ホームページのために会員みなさまの声をお聞かせください！メール（urakami@h-ab.com）またはFAX（011-222-0924）、郵送でも受付いたします。

CPD認定プログラム(8月認定)

- ◆第40回(一社)北海道建築士会全道大会青年サミット
 (日程及び会場) 9月18日(金) 13:30~17:30
 紋別市民会館(紋別市)
 (単位数) 4単位
- ◆第40回(一社)北海道建築士会全道大会分科会
 (日程及び会場) 9月19日(土) 12:30~14:30
 紋別市民会館(紋別市)
 (単位数) 各2単位
- ◆第40回(一社)北海道建築士会全道大会基調講演
 (日程及び会場) 9月19日(土) 16:50~18:00
 紋別市民会館(紋別市)
 (単位数) 1単位
 (上記大会に関する問合せ先)
 (一社)北海道建築士会 TEL 011-251-6076
- ◆[Vectorworks BIM CAMP (木造) 函館] 無料講習会
 (日程及び会場) 9月19日(土) 13:00~17:30
 サン・リフレ函館(函館市)
 (単位数) 5単位
 (問合せ先) (一社)北海道建築士会函館支部
 TEL 0138-27-6858

道士会の動き

道本部の主な委員会報告

- ◆第2回 情報委員会
 (開催日) 8月1日(土)
 (議案) 1) 全道大会(紋別大会)号外について
 2) ホームページ運営について
- ◆第2回 青年委員会
 (開催日) 8月8日(土)
 (議案) 1) 全道大会(紋別大会)青年サミットについて
 2) 全道大会(紋別大会)C分科会について
- ◆第2回 事業委員会
 (開催日) 8月29日(土)
 (議案) 1) 建築技術講習会テキスト編集

道本部の主な行事予定(9月)

- 4日(金) 第3回理事会
- 8日(火) 一級・木造建築士(学科)試験 合格発表
- 12日(土) 一級建築士試験設計製図課題現場見学会
- 13日(日) 二級建築士設計製図試験
- 18日(金) (一社)北海道建築士会全道大会(紋別大会)青年サミット
- 19日(土) (一社)北海道建築士会全道大会(紋別大会)分科会・式典・基調講演・懇親会

関係機関等会議出席状況(9月)

- 1日 北海道住宅リフォーム推進協議会臨時総会 高野会長出席
- 11日 CPD専攻建築士制度委員会 高野会長出席
- 25日・26日 平成27年度第25回全国女性建築士連絡協議会
 本間女性委員長・東連合会女性委員出席

編集後記

3年前の全道大会(函館・檜山大会)の記憶も冷めやらぬ中、4年後に函館市で全国大会が開催されることとなりました。また、来年の全道大会は、室蘭市で開催されますが、それらの中心を担うのは、道南ブロックとともに活動する青年たちです。ブロックで切磋琢磨する仲間として、協力できることがあれば、惜しみなく協力したいと思っています。それはさておき、まずは、来る紋別大会での号外発行に全力投球です。

情報委員会 森 勝利

「建築士による家庭科住教育出張講座」 参観のご案内

今年の講座開講の対象高等学校が下記のとおり決定いたしましたので、出張講座の授業を参観いただき、来年以降の担当講師として活動していただける建築士を広く養成中です。

一人でも多くの方に参観いただきたいと思いますので是非ご参加ください。

なお、参加申込につきましては、近隣支部のみならず、開催日近くに案内を会誌と同封してお知らせいたします。

- 9月16日(水) 北海道高等学校
- 10月6日(火) 北海道幕別高等学校
- 10月7日(水) 北海道名寄産業高等学校
- 10月20日(火) 北海道夕張高等学校
- 10月22日(木) 北海道小清水高等学校
- 11月6日(金) 北海道豊富高等学校
- 11月10日(火) 北海道函館水産高等学校
- 11月中旬 北海道札幌旭ヶ丘高等学校
- 12月8日(火) 北海道札幌国際情報高等学校
- 12月15日(火) 北海道小樽桜陽高等学校

図書案内

「民間(旧四会)連合協定リフォーム工事請負契約書類」(書式・約款)

販売のご案内



「民間(旧四会)連合協定リフォーム工事請負契約書類」(書式・約款)

- ◎ A4版
- ◎ 会員価格486円(税込) 定価540円(税込)

【図書問合せ先】

(一社)北海道建築士会 011-251-6076

情報委員会委員長/神田 光英
 副委員長/斎藤 勝哉・早川 陽子・森 勝利
 委員/高松 徹・熊谷 智・柳山美保子
 鈴木 雅人

北海道建築士 No.217号

印刷 平成27年8月/発行 平成27年9月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011) 251-6076番
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011) 811-7151番